



1949年、北海道生まれ 書道史、書文化研究の第一人者として知られ、2020年3月の退職まで公益財団法人五島美術館にて学芸部長、副館長を務めた。  
現在、一般財団法人筆の里振興事業団理事ほか、大学講師などを務め、書文化をはじめ広く日本文化の紹介と後進の指導を行っている。新たに本年4月より筆の里工房の副館長を務める。

名見 耶明

NAGOYA Akira

上田 宗問

UEDA Sokei



1945年、広島生まれ 茶道上田宗箇流家元 公益財団法人上田流和風堂理事長をはじめ、一般財団法人筆の里振興事業団理事ならびに副館長も務める。桃山時代から400年にわたり上田家に伝わる武家文化を宗箇の茶を核として紹介し、広島から日本文化のあり様を提唱している。

名見耶明氏筆の里工房副館長就任記念特別対談

広島で

文化をつなぐ

茶の湯と書が交わるところ



聞き手・進行役

北村 浩司 KITAMURA Koji

1960年、京都市生まれ 1984年中国新聞社入社  
現在、常務取締役編集制作本部長ならびに  
一般財団法人筆の里振興事業団理事を務める。

2021年  
6月5日(土曜日)

筆の里工房  
ギャラリーホール(地階)

13時30分～15時

参加費：無料(要入館料)

定員：80名(要申込)

※新型コロナウイルス感染状況によっては中止の場合があります。  
開催の有無は来館前に筆の里工房ホームページで確認  
または、電話でお問い合わせください。

桃山時代の猛将として知られた初代宗箇の豪胆さと時代の空気を取り入れる柔軟さをもつ茶道上田宗箇流の家元と日本の書流(和様)のひろがりから現在に至る自由な筆跡へ変化してきた書文化を知る第一線の研究者が「型を知り、柔軟であること」をテーマに特別対談を行います。

お問い合わせ・お申込み

筆の里工房 ☎ 082-855-3010

4月30日(金)10時より受付開始